ユーザー操作マニュアル
NI Collabo 360
ICカード経費精算連携マニュアル

目次

はじめに 3
バージョンアップ時の注意事項 5
環境を用意 6
本アプリを利用 8
トラブルシューティング 16

はじめに

「NI Collabo 360 ICカード経費精算連携」のご利用について

「NI Collabo 360 ICカード経費精算連携」をご利用になる場合は、NI Collabo 360をご利用可能なアカウントが必要となります。
NI Collabo 360経費精算機能にICカードの乗降車履歴情報や物販でのご利用履歴、ICカードへの入金履歴を転記するアプリケーションとなります。
また、ICカードを読み取り可能な機器が、ご利用になられる端末にインストール済みである必要があります。
（一部、OS端末によっては正しく製品が動作しないことがあります）
以下、NI Collabo 360 ICカード経費精算連携を本アプリと表記します。

本アプリで読み取り可能なICカードは鉄道系ICカード（Suica・ICOCA等）のみとなります。
上記カードにてバス・路面電車等へ乗降した場合は、金額と降車駅のみ記録されるため、乗車駅は不明となります。
また、ICカードに記録されている読み取り可能な乗降車履歴情報や物販でのご利用履歴、ICカードへの入金履歴は最大で20件となります。

Hint

- **事業者名・路線名・駅名について**
  事業者名や路線名、駅名等の情報は弊社（NIコンサルティング）が保証する情報ではありません。
  ICカードに記録されている情報から事業者名・路線名・駅名を判断する情報は、一般社団法人日本鉄道技術協会様にて規格・制定されている情報であり、公開されておりません。
  そのため、お使いの駅名等が表示されない場合や、古い駅名が表示される場合がございます。
  必要な駅名などが表示されない・古い駅名などが表示される場合は、本アプリにて修正してください。
- **ICカードの利用について**
  - 1つのICカードを2人以上のユーザーで共有して利用できません。
    ICカード経費精算連携アプリから履歴情報を転送した時点で、ICカードの情報がNI Collabo 360に登録され、ログインユーザーと紐付きます。
    そのため、再度他のログインユーザーでログインし、登録済みのICカード履歴情報を転送しても履歴情報は転送されません。
    誤って他人のICカードを登録してしまった場合は、オプション設定またはシステム設定の「ICカード管理」にて該当のICカード情報を削除してください。
  - 転送済みのICカード履歴情報を再転送できません。
    転送できるICカード履歴情報は、転送していない履歴情報が対象となります。
    オプション設定またはシステム設定の「ICカード管理」にて該当のICカード情報を削除した場合も同様です。
- **共用のパソコンで本アプリを利用する場合の注意事項**
  本アプリはNI Collabo 360に各個人のアカウントでログイン致しますので、作業完了後は、本アプリを終了する事をお勧めします。
  本アプリを終了せずに他のご利用者様が利用した場合、ログインしているアカウントで、NI Collabo 360の経費精算機能へ転送するため、ご注意ください。

▶ NI Collabo 360 ICカード経費精算連携の動作環境

2025 年 *1* 月 *17* 日現在

環境	詳細
Windows端末	Windows10以降 ただし、後述するICカードリーダーが動作可能な物に限ります。
.NET Framework	4.6（または4.6を包含する.NET Framework）
ICカードリーダー	SONY PaSoRi RC-S380/300にて動作確認済み インストール方法等は、ご利用になれる機器メーカーへお問い合わせください。

バージョンアップ時の注意事項

▶ 「NI Collabo 360 ICカード経費精算連携」のバージョンアップのご利用について

「NI Collabo 360 ICカード経費精算連携」をバージョンアップする場合は、初期バージョンに限り、後述する手順にてデータファイルを上書きして、データの引き継ぎを行ってください。
初期バージョン以外の場合は、インストーラーでの操作でデータも引き継がれます。
バージョンの確認は、共通設定画面の右下にある、バージョンボタンから確認できます。
Version 1.0.0が初期バージョンとなります。（それ以外の数字の場合は、初期バージョンではありません）



初期バージョンからのデータ引き継ぎについて
アプリケーションのインストール先のフォルダをエクスプローラーで開いてください。
（例：C:¥Program Files (x86)¥niconsul¥ninfcapp）
NI_NFC_APP.dbというファイルをデスクトップ等にコピーしてください。

新しいバージョンのインストーラーから、アンインストールを行い、インストールを実施してください。
インストールが完了したら、アプリケーションを終了させて、上記でコピーしたファイルを、
アプリケーションのインストール先のフォルダの同名ファイルに上書きしてください。

Hint

- **アプリケーションにて設定している、各種設定情報や、駅名などを編集した情報は、すべて「NI_NFC_APP.db」に保存されています。**
  初期バージョンのインストーラーのアンインストール機能は、上記ファイルを削除します。
  初期バージョン以降のインストーラーのアンインストール機能では、上記ファイルを残します。

環境を用意

▶ Windows端末の準備

「NI Collabo 360 ICカード経費精算連携」をご利用になるにはWindowsOSの端末が必要となります。

本アプリ起動時に.NET Frameworkのエラーが発生する場合は、
.NET Framework4.6が無効になっている、又はインストールされていない場合があります。
.NET Framework4.6をインストール、又は有効化してください。

「NI Collabo 360 ICカード経費精算連携」をご利用になるWindows端末に、アプリケーションをインストールする必要があります。

インストールファイルはZIPで圧縮されていますので、**ni_nfc_expense_app_installer.zip**ファイルを解凍してください。
解凍したファイルの中にある、**INSTALL.EXE**ファイルを実行してください。
インストーラーでは特に設定変更の必要はありませんので、初期値のままでインストールを実行してください。

Hint

- **LZH又はLHA等の圧縮ファイルに関するエラーが表示される場合、解凍用ライブラリが、端末にインストールされていない可能性がありますので、インストールしてください。**
- **インストールはAdministrator権限にて実行してください。**
- **ログインしているユーザーが管理者ではない場合、インストールする際に管理者として実行してください。**

インストールが完了すると、スタートメニューの中に「NI Collabo 360 ICカード経費精算」が作成されます。
以降のNI Collabo 360 ICカード経費精算の起動は、上記ショートカットから行ってください。
プログラムはインストーラーにて指定された場所（例：C:¥Program Files (x86)¥niconsul¥ninfcapp）に配置されます。
インストール後に手作業で、プログラムを移動したり、削除したりしないでください。
アンインストールする場合は、コントロールパネルのプログラムと機能から可能です。

▶ ICカードリーダーのインストールについて

「NI Collabo 360 ICカード経費精算連携」をご利用になるWindows端末に、ICカードリーダーを接続しインストールする必要があります。
弊社にて動作確認済みの機種としては「PaSoRi RC-S380」となります。
上記機種と互換性のあるICカードリーダー機器をご用意いただく必要があります。
※PaSoRi RC-S390はWindowsOSに非対応となりますので、動作対象外となります。

本アプリを利用

▶ ICカード経費精算連携の起動について

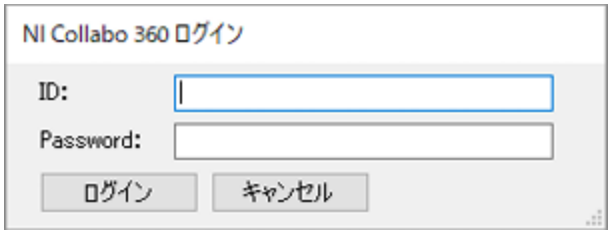
スタートメニューから「NI Collabo 360 ICカード経費精算」を起動してください。
下図のスタートアップ画面が起動して、起動準備を行います。



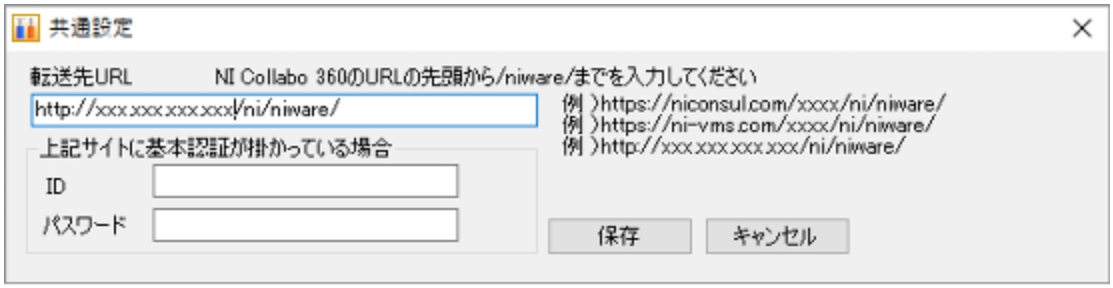
初回起動時や共通設定未保存時は上記画面の途中で共通設定画面が起動します。
転送先URLを入力して保存してください。
NI Collabo 360のサイトに基本認証が掛かっている場合は、IDとパスワードを入力して保存してください。



下図のログイン情報入力画面が表示されます。



NI Collabo 360のログイン情報を入力してください。
ログインできない場合は、共通設定を開くか確認メッセージが表示されます。
共通設定を変更する場合は「はい」をクリックしてください。
ログイン画面から共通設定を起動した場合は、URLと基本認証のID・パスワードのみ変更可能となります。
転送先URLが正しく入力されていない場合は修正して保存してください。



再度、ログイン情報入力画面が表示されます。
NI Collabo 360のログイン情報を入力してください。

▶ 共通設定について

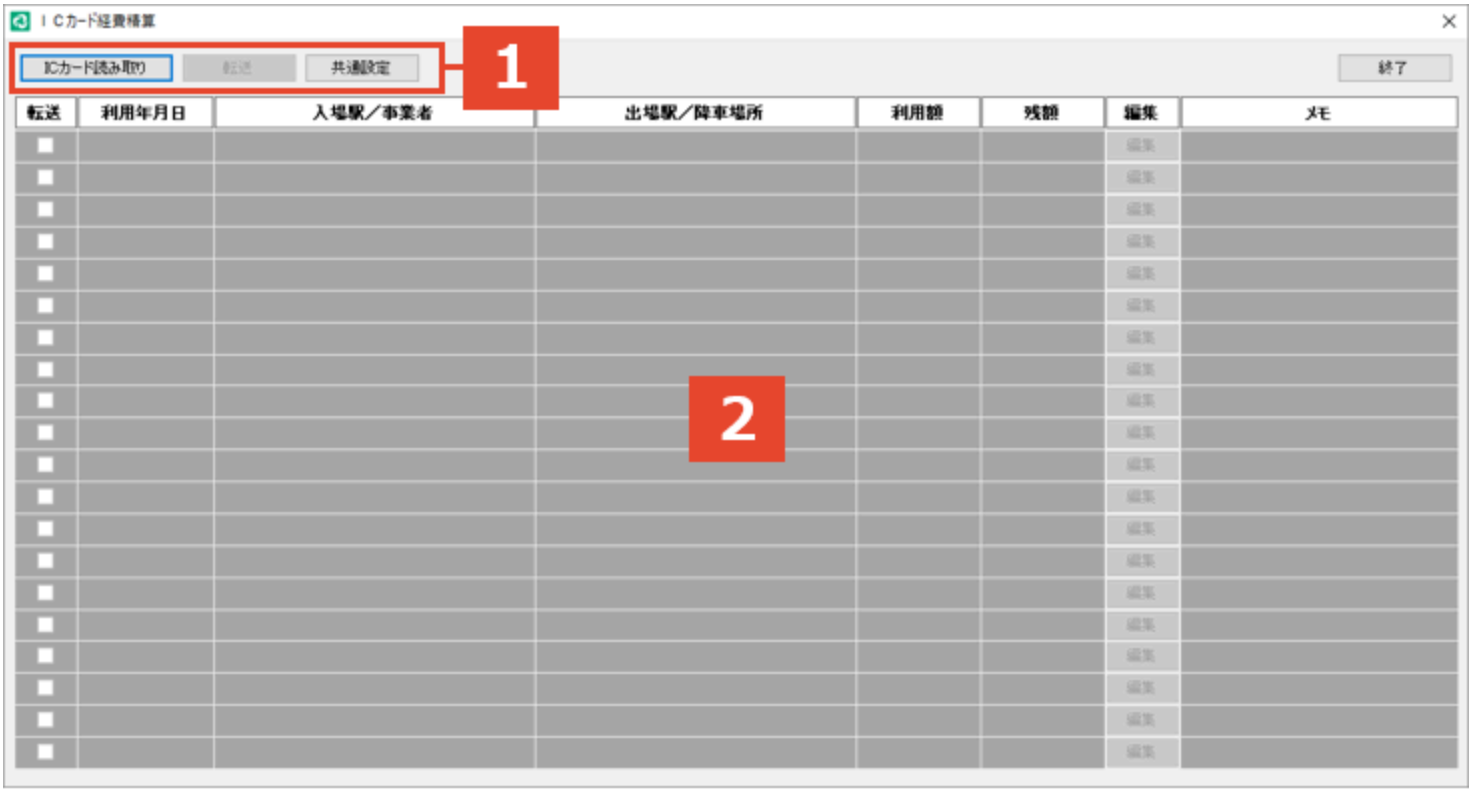
初回起動時や共通設定未保存時は、スタートアップ画面の途中で設定画面が起動します。
既に共通設定を保存済みの場合は、メイン画面の共通設定ボタンから起動できます。



番号	各部の名称	説明
1	転送先URL	連携先となるNI Collabo 360のURLを入力してください。 連携先URLが未入力の場合は、ICカードの履歴情報の転送は行えません。 間違っている場合は、履歴情報を転送してもページが見つかりません等のエラーとなります。
2	ID、パスワード	連携先に基本認証が掛かっている場合は、IDとパスワードを入力してください。
3	鉄道系情報の表示タイプ	ICカード読み取り時の画面表示と、経費精算機能へ転送する情報を選択できます。
4	バス系情報の表示タイプ	バス・路面電車の経費精算機能へ転送する情報を選択できます。 ※ICカード読み取り時の画面表示内容は変わりません。
5	バージョン情報	本アプリのバージョン及び著作権表示画面を起動します。

▶ ICカード経費精算連携のメイン画面について

メイン画面を表示して、ICカードリーダーに ICカードを置いて、ICカード読み取りボタンをクリックすると、
ICカードの乗降車履歴情報を読み取り、メイン画面に一覧表示します。
表示順は古い情報から順番に表示して、一番下が最も新しい情報になります。



番号 1

各部の名称	説明
ICカード読み取りボタン	ICカードリーダーで鉄道系ICカードを読み取り可能な状態にして、クリックすると、ICカードに記録されている乗降車履歴情報や物販でのご利用履歴、ICカードへの入金履歴を最大20件まで読み取れます。
転送ボタン	転送チェックボックスにチェックを付けている情報を、NI Collabo 360経費精算機能へ転送します。
共通設定ボタン	共通設定画面を起動できます。

番号 2

各部の名称	説明
転送チェックボックス	NI Collabo 360経費精算機能へ転送する情報を選択します。
利用年月日	ICカードに記録されている履歴情報の利用日を表示します。
入場駅／事業者	鉄道系情報の場合は入場駅を表示します。バス（路面含む）系情報の場合は事業者を表示します。ICカードへの入金（チャージ）の場合は駅名を表示します。物販の場合は空欄で表示されます。
出場駅／降車場所	鉄道系情報の場合は出場駅を表示します。バス（路面含む）系情報の場合は降車場所を表示します。ICカードへの入金（チャージ）および物販の場合は空欄で表示されます。
利用額	ICカードに記録されている履歴情報の残額から利用額を算出して表示します。最も古い情報の場合は、残額からの算出が出来ない為、利用額は不明となります。 ※ICカードへの入金（チャージ）はマイナスで表示されます。
残額	ICカードに記録されている履歴情報の残額を表示します。
編集ボタン	鉄道・バス・路面電車等の駅名情報編集画面を起動できます。
メモ	履歴情報のメモを表示します。

Hint

- **一度に転送できる情報量について**
  一度に転送可能な情報は、最大で2000バイト程度となります、超える場合はエラーが発生しますので、転送チェックボックスのチェックを減らして、再度、転送してください。
- **編集可能な情報について**
  鉄道系の場合は事業者名・路線名・駅名、バス（路面含む）系の場合は事業者名・降車場所名となります。
  ICカードへの入金（チャージ）や物販等の情報は編集できません。
  降車情報の無いバス情報（バス停コード無し）の情報も編集できません。

▶ ICカード経費精算連携の編集画面について

鉄道系の乗降車履歴情報の場合は、以下の画面が表示されます。



番号	各部の名称	説明
1	事業者名 路線名 駅名	修正したい情報を編集し、保存ボタンをクリックしてください。 事業者名や路線名は、同一区間の情報は、全て更新されます。 例）東日本旅客鉄道 東海道本 東京→JR東 東海道本線 東京 と変更した場合、 東海道本線の事業者名「東日本旅客鉄道」が全て「JR東」になり、 東海道本線の路線名「東海道本」が全て「東海道本線」になります。 ※その他区間等の事業者名「東日本旅客鉄道」は変更されません。 事業者名と路線名を修正する場合は、降車の情報を修正してください。 ※乗車の情報だけ修正した場合、後から降車の情報で上書きされて元に戻ります。

バス・路面電車系の乗降車履歴情報の場合は、以下の画面が表示されます。



番号	各部の名称	説明
1	事業者名 停留所名	修正したい情報を編集し、保存ボタンをクリックしてください。 事業者名は、同一事業者の名前は、全て更新されます。 例）広島電鉄 広島→広電 広島と変更した場合、 事業者名「広島電鉄」が全て「広電」になります。

Hint

- 事業者名や路線名・駅名又は停留所名等の駅情報は、自由に変更が可能なため、お客様のご利用方法に合わせた、自由な名称を設定する事が可能です。

  ※転送可能な文字列について
  半角「_（アンダーバー）」は転送できない文字列です。半角「_（アンダーバー）」を含んでいる場合、半角「_（アンダーバー）」は全角「＿（アンダーバー）」に変換して転送されます。

補足

- 駅情報や設定情報等は全て「NI_NFC_APP.db」に保存されています。
  複数の端末で同じ情報を利用する場合は、上記ファイルを上書きする事で、他の端末で設定や修正した情報を利用する事ができます。
  上書きをされた側の端末で設定した内容や修正した駅情報は消えますのでご注意ください。
  「NI_NFC_APP.db」は本アプリをインストールしたフォルダに含まれます。

▶ ICカード経費精算連携の転送について

本アプリから転送された情報は、NI Collabo 360の経費精算機能の経費精算トップ画面に表示されます。



補足

- 転送したICカード履歴情報を経費入力する方法は、「ICカードの履歴から経費を登録する」をご確認ください。

トラブルシューティング

Q　メッセージ「NI Collabo 360への接続に失敗しました。」が表示される場合。

A　NI Collabo 360に基本認証が掛かっている場合は、共通設定に基本認証のIDとパスワードを設定してください。

Q　メッセージ「NI Collabo 360をバージョンアップしてください。」が表示される場合。

A　NI Collabo 360を2016年6月以降のバージョンまでバージョンアップしてください。

Q　「リモートサーバーに接続できません。．．．アクセス許可で禁じられた方法でソケットにアクセスしようとしました。」というエラーが発生する場合。

A　本アプリ以外のソフトウェアにて、本アプリが利用する機能を先に利用している為、本アプリをご利用になれません。
他の端末でのご利用をご検討ください。